

## [要点]

- (1) 19世紀はじめに江戸を中心として化政文化がさかえた。
- (2) 与謝蕪村や小林一茶は俳諧を民衆の間に広めた。また、政治を風刺した狂歌や川柳が好まれた。
- (3) 小説では「東海道中膝栗毛」の十返舎一九、「南総里見八犬伝」の滝沢馬琴が有名である。
- (4) 浮世絵では安藤広重や葛飾北斎の風景画、喜多川歌麿の美人画がある。

## [A問題：要点確認]

- (1) 19世紀はじめに江戸を中心として( )文化がさかえた。
- (2) ( )世紀はじめに( )を中心として化政文化がさかえた。
- (3) 与謝蕪村や( )は俳諧を民衆の間に広めた。また、政治を風刺した( )や川柳が好まれた。
- (4) ( )や小林一茶は( )を民衆の間に広めた。また、政治を風刺した狂歌や( )が好まれた。
- (5) 小説では「東海道中膝栗毛」の( )、「南総里見八犬伝」の( )が有名である。
- (6) 小説では( )の十返舎一九、( )の滝沢馬琴が有名である。
- (7) 浮世絵では安藤広重や( )の風景画、( )の美人画がある。
- (8) ( )絵では( )や葛飾北斎の風景画、喜多川歌麿の美人画がある。

## [B問題]

- (1) 江戸時代の後期の文化・文政年間を中心に栄えた文化は何か。また、中心都市はどこか。
- (2) 「東海道中膝栗毛」というこっけいな小説を書いた人物は誰か。
- (3) 教訓を含んだ「南総里見八犬伝」を書いた小説家は誰か。
- (4) 「菜の花や 月は東に日は西に」という俳諧の作者は誰か。
- (5) 「われときて遊べや親のない雀」という俳諧の作者は誰か。
- (6) 幕府の政治を批判したり、民衆の生活をおもしろおかしく表現した歌は何か。2つあげよ。
- (7) 浮世絵の「東海道五十三次」を描いた人物は誰か。
- (8) 富士山を中心に「富嶽三十六景」を描いた浮世絵師は誰か。
- (9) 美人画を得意にした浮世絵師は誰か。
- (10) 町人や農民の子供が読み・書き・そろばんを習った場所を何というか。

- [解答] (1) 化政文化 江戸 (2) 十返舎一九 (3) 滝沢馬琴 (4) 与謝蕪村 (5) 小林一茶  
 (6) 狂歌、川柳 (7) 安藤広重 (8) 葛飾北斎 (9) 喜多川歌麿 (10) 寺子屋

[C問題]

- (1) 化政文化がさかえたのはいつ頃か。
- (2) 十返舎一九の代表的な作品は何か。
- (3) 滝沢馬琴の代表的な作品は何か。
- (4) 狂歌・川柳の代表的な作者は誰か。
- (5) この時代になると、浮世絵の技術も進み、( )という多色刷りの版画も作られた。

[解答](1)19世紀のはじめ (2)東海道中膝栗毛 (3)南総里見八犬伝 (4)大田南畝(5)錦絵